Strictly Private & Confidential

対比用サンプル
（悪い例）

長野県　金属プレス加工業

企業概要書

上田ファインプレス株式会社

2026年●月

【お断り】
本資料は、株式会社ＳＴＲコンサルティングが制作したIMサンプル（上田ファインプレス株式会社）と比較していただくために、一般的な仲介会社が作成する企業概要書の水準を想定して、ＳＴＲコンサルティングが作成した対比用のサンプルです。
対象会社・仲介会社・数値はすべて架空のものです（写真はAI生成）。

〇〇M&Aパートナーズ株式会社

（架空の仲介会社です）

目次

対比用サンプル
（悪い例）

1 会社概要

・案件概要 P3
・会社概要 P4
・拠点 P5
・沿革 P6
・株主・役員 P7
・従業員の状況 P8

2 事業内容

・事業内容 P9
・主要製品・売上構成 P10
・主要取引先 P11
・会社の強み P12
・主要設備 P13

3 財務情報

・損益計算書 P14
・売上原価の明細 P15
・販売費及び一般管理費の明細 P16
・貸借対照表 P17
・修正損益 P18
・修正純資産 P19
・借入金一覧 P20

案件概要

対比用サンプル
（悪い例）

項目	内容
業種	金属プレス加工業（電子部品向け端子、住設・空調機器向け板金部品の製造）
所在地	長野県上田市
設立	1975年10月（創業1972年）
売上高	780百万円（2026年3月期）
営業利益	20百万円（2026年3月期）
経常利益	42百万円（2026年3月期）
純資産	401百万円（2026年3月期）
従業員数	41名（正社員24名、技能実習生6名、パート11名）
譲渡理由	後継者不在のため
譲渡スキーム	株式譲渡（100%）
譲渡希望価格	ご提示いただきたい
その他	代表取締役は譲渡後1〜2年程度の引継ぎに協力可能

会社概要

対比用サンプル
（悪い例）

項目	内容
商号	上田ファインプレス株式会社
本社所在地	長野県上田市●●町●●
代表者	代表取締役　柳沢 康夫
設立	1975年10月
資本金	20百万円
決算期	3月
事業内容	精密金属プレス部品の製造
従業員数	41名（2026年3月末）
事業所	本社工場、第二工場（いずれも長野県上田市）
主要取引銀行	地方銀行A、信用金庫B、日本政策金融公庫
許認可・認証	ISO 9001

拠点

対比用サンプル
（悪い例）

■ 当社は長野県上田市に本社工場と第二工場の2拠点を有している。



▲本社工場



▲第二工場

拠点	所在地	敷地面積	延床面積	所有形態
本社工場	長野県上田市●●町●●	3,300㎡	2,100㎡	自社所有
第二工場	長野県上田市●●町●●	5,600㎡	3,000㎡	自社所有

※第二工場の延床面積には倉庫として使用している旧棟600㎡を含む。

沿革

対比用サンプル
（悪い例）

年月	内容
1972年4月	柳沢喜一郎が上田市内で個人創業
1975年10月	上田ファインプレス株式会社を設立
1988年5月	本社工場を新築移転
1995年	電子部品向け端子の製造を開始
1998年6月	柳沢康夫が代表取締役に就任
2004年	ISO 9001を取得
2014年8月	第二工場を取得
2018年	外国人技能実習生の受入れを開始
2023年6月	300tプレスを導入
2025年6月	B社より優秀サプライヤー賞を受賞

株主・役員

対比用サンプル
（悪い例）

【株主構成】

No.	氏名	続柄	保有株式数	持株比率
1	柳沢 康夫	本人	32,000株	80.0%
2	柳沢 節子	妻	4,000株	10.0%
3	柳沢 健一	長男	4,000株	10.0%
	合計		**40,000株**	**100.0%**

【役員構成】

役職	氏名	年齢	常勤／非常勤	譲渡後の意向
代表取締役	柳沢 康夫	71歳	常勤	1〜2年の引継ぎ後に退任
取締役工場長	小宮山 誠	58歳	常勤	継続
取締役	柳沢 健一	42歳	非常勤	退任
監査役	柳沢 節子	68歳	非常勤	退任

従業員の状況

対比用サンプル
（悪い例）

■ 2026年3月末時点の従業員数は41名である。

区分	人数	平均年齢	平均勤続年数	平均年収
正社員	24名	38歳	12年	4,680千円
技能実習生	6名	26歳	2年	2,760千円
パート	11名	64歳	10年	1,432千円
合計	**41名**	**43歳**	**10年**	**3,530千円**

【部署別人員】

部署	人数	主な業務
生産管理・営業	4名	受注・生産計画、営業
総務	2名	経理、総務
金型課	5名	金型の設計・製作・保全
品質管理課	6名	検査、品質管理
本社工場 製造課	14名	プレス加工（2交替制）
第二工場 製造課	10名	プレス加工、溶接・タップ加工

※平均年収は2025年3月期の支給実績。上記のほか、派遣社員4名が勤務。

事業内容

対比用サンプル
（悪い例）

■ 当社は精密金属プレス部品の製造を行っている。

✓ 電子部品メーカー向けに、コネクタ用の端子やバッテリー接点などの精密端子を製造している。

✓ 住設・空調機器メーカー向けに、給湯器の外装パネルやエアコン室外機のブラケットなどの板金部品を製造している。

✓ その他、医療機器や計測機器、産業機器向けの部品も製造している。

✓ 金型は自社で設計しており、めっき・熱処理は外注している。

✓ 本社工場は24時間稼働（2交替制）、第二工場は昼勤を基本としている。



▲工場内の様子（本社工場）



▲工場内の様子（第二工場）

主要製品・売上構成

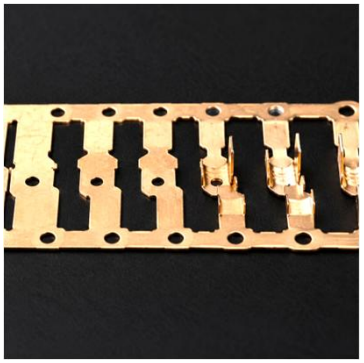
対比用サンプル
（悪い例）

■ 2026年3月期の製品別売上高は以下のとおり。

製品区分	主な製品	売上高（百万円）	構成比
電子部品向け	コネクタ端子、バッテリー接点、シールドケース	346	44.4%
住設・空調向け	給湯器の外装パネル、室外機ブラケット、金具	315	40.4%
その他	医療機器・計測機器・産業機器向け部品	118	15.2%
合計		**780**	**100.0%**



▲端子



▲端子（連続）



▲板金部品

主要取引先

対比用サンプル
（悪い例）

■ 主要な販売先・仕入先・外注先は以下のとおり。

【主要販売先】（2026年3月期）

No.	販売先	業種	売上高（百万円）
1	F社	商社	140
2	A社	電子部品メーカー	120
3	H社	商社	95
4	B社	電子部品メーカー	85
5	J社	給湯器メーカー	60
6	C社	商社	55
7	D社	コネクタメーカー	48
8	K社	医療機器メーカー	38
9	L社	計測機器メーカー	30
10	その他		109
	合計		**780**

【主要仕入先】

・伸銅品メーカー・商社（銅合金条）
・鋼材商社（鋼板）

【主要外注先】

・めっき加工（県内3社）
・熱処理（県内1社）

※販売先は社名を伏せて記載しております。社名はトップ面談後に開示いたします。

会社の強み

対比用サンプル
（悪い例）

■ 代表取締役へのヒアリングによる当社の強みは以下のとおり。

技術力	・金型を自社で設計しているので、お客様の要望に早く対応できる ・小さい端子から大きい板金部品まで、両方を作れる会社は少ない
取引先	・大手メーカーとの取引が長く、信頼されている ・電子部品と住設の両方に取引先があり、片方が悪くてももう片方でカバーできる
品質	・品質には自信があり、2025年にはB社から優秀サプライヤー賞をもらった ・ISO 9001を取得している
人材	・工場長をはじめベテランの技術者がおり、若手も育ってきている ・技能実習生を受け入れており、人手は足りている
その他	・2つの工場とも自社所有である ・銀行との関係も良好で、返済に困ったことはない ・工場内は整理整頓を心がけており、見学に来たお客様からよく褒められる

主要設備

対比用サンプル
（悪い例）

■ 主要な設備は以下のとおり。

No.	設備名	台数	取得年月	取得価額（円）	帳簿価額（円）
1	高速精密プレス 25t	2	2008年2月	19,840,000	1
2	高速精密プレス 25t	2	2012年10月	20,460,000	1
3	高速精密プレス 25t	2	2019年3月	21,000,000	2,752,512
4	高速精密プレス 45t	1	2006年5月	11,200,000	1
5	高速精密プレス 45t	1	2016年4月	1,650,000	1
6	高速精密プレス 45t	1	2025年8月	19,354,047	17,096,075
7	材料送り装置	2	2024年10月	2,043,136	1,498,300
8	精密プレス 80t	2	2010年5月	27,300,000	1
9	精密プレス 80t	1	2021年11月	9,960,000	3,807,642
10	ワイヤ放電加工機	2	2011年4月	24,600,000	1
11	ワイヤ放電加工機	1	2019年7月	13,480,000	2,871,134
12	平面研削盤	2	2009年6月	9,850,000	1
13	成形研削盤	1	2022年6月	8,920,000	3,881,984
14	プレス 200t・250t	5	2014年8月	14,500,000	1
15	トランスファープレス 300t	1	2014年8月	12,800,000	1
16	プレス 250t	1	2017年9月	9,780,000	721,060
17	プレス 300t	1	2023年6月	40,000,000	21,760,000
18	コイル材供給装置	1	2023年6月	6,000,000	3,264,000
19	スポット溶接機・タップ盤	2	2015年10月	4,380,000	1
20	スポット溶接機・タップ盤	2	2020年10月	5,120,000	1,537,913
21	太陽光発電設備	1	2015年4月	20,103,960	7,075,560

損益計算書

対比用サンプル
（悪い例）

■ 直近3期の損益計算書は以下のとおり。

科目	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	720,010,997	749,991,831	779,975,323
売上原価	646,035,187	625,512,250	648,687,014
売上総利益	**73,975,810**	**124,479,581**	**131,288,309**
販売費及び一般管理費	109,159,910	110,157,280	111,593,112
営業利益	**▲35,184,100**	**14,322,301**	**19,695,197**
営業外収益	30,407,178	24,221,213	25,680,325
受取利息	80,828	116,249	96,385
雑収入	30,326,350	24,104,964	25,583,940
営業外費用	2,746,930	3,055,326	3,186,986
支払利息	2,746,930	3,055,326	3,186,986
経常利益	**▲7,523,852**	**35,488,188**	**42,188,536**
税引前当期純利益	▲7,523,852	35,488,188	42,188,536
法人税等	398,150	8,670,623	13,172,111
当期純利益	**▲7,922,002**	**26,817,565**	**29,016,425**

（単位：円）

売上原価の明細

対比用サンプル
（悪い例）

■ 直近3期の売上原価の明細は以下のとおり。

（単位：円）

科目	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
材料費	299,134,068	284,093,424	291,681,599
賃金	113,111,794	114,961,839	118,183,606
賞与	3,964,122	7,021,976	8,019,409
法定福利費	18,344,562	19,180,605	19,438,119
福利厚生費	9,352,635	9,323,682	9,648,845
退職金共済掛金	2,768,567	2,904,553	2,986,061
派遣料	23,096,131	21,866,598	22,252,453
研修費	3,212,305	2,605,052	2,002,351
外注加工費	67,907,795	66,563,522	66,854,435
電力費	30,958,130	21,916,535	21,231,466
金型費	10,067,111	10,491,703	10,512,906
消耗工具器具備品費	6,583,127	7,078,184	7,335,094
消耗品費	7,184,940	7,201,760	8,118,523
修繕費	7,251,144	6,779,406	7,671,028
賃借料	6,997,200	5,998,000	6,342,000
減価償却費	18,960,926	20,385,484	28,253,347
水道光熱費	4,558,299	4,744,239	4,903,370
運搬費	3,752,838	3,708,121	3,925,977
検査費	3,321,825	3,196,124	3,446,531
廃棄物処理費	2,213,991	2,234,425	2,403,349
旅費交通費	1,218,759	1,197,662	1,277,627
通信費	891,837	852,275	948,596
事務用品費	687,720	693,506	707,302
雑費	495,361	513,575	543,020
売上原価 計	**646,035,187**	**625,512,250**	**648,687,014**

販売費及び一般管理費の明細

対比用サンプル
（悪い例）

■ 直近3期の販売費及び一般管理費の明細は以下のとおり。

（単位：円）

科目	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
役員報酬	32,400,000	32,400,000	32,400,000
給料手当	15,755,086	16,097,657	16,767,798
賞与	1,050,000	1,420,000	1,560,000
法定福利費	3,824,275	4,036,609	4,199,258
福利厚生費	1,383,285	1,438,559	1,483,250
荷造運賃	15,921,747	16,506,202	17,360,432
保険料	7,064,183	7,007,760	6,993,184
減価償却費	3,145,994	3,200,795	3,166,607
支払手数料	3,940,048	3,985,597	3,980,652
地代家賃	3,600,000	3,600,000	3,600,000
管理諸費	4,036,189	4,026,447	3,969,037
租税公課	4,914,766	4,936,669	4,948,631
通信費	2,617,416	2,484,503	2,397,573
旅費交通費	2,076,441	1,890,126	1,918,084
接待交際費	1,697,343	1,625,749	1,558,223
消耗品費	1,469,698	1,345,110	1,319,134
水道光熱費	1,168,248	1,153,138	1,106,022
車両費	1,071,049	1,048,877	988,209
広告宣伝費	699,407	697,475	675,699
諸会費	609,324	579,608	545,685
新聞図書費	470,202	447,641	434,292
雑費	245,209	228,758	221,342
販売費及び一般管理費 計	**109,159,910**	**110,157,280**	**111,593,112**

貸借対照表

対比用サンプル
（悪い例）

■ 直近期（2026年3月期）の貸借対照表は以下のとおり。

（単位：円）

資産の部	金額
流動資産	**498,128,974**
現金及び預金	260,984,466
受取手形	12,846,210
電子記録債権	27,515,223
売掛金	124,876,885
製品	19,996,537
仕掛品	16,137,231
原材料	26,729,549
前払費用	5,318,420
未収入金	2,946,105
立替金	412,348
仮払金	366,000
固定資産	**290,869,217**
建物	72,329,691
建物附属設備	6,933,133
構築物	5,132,881
機械装置	66,266,190
車両運搬具	3,412,560
工具器具備品	8,655,283
土地	85,166,459
保険積立金	31,973,865
倒産防止共済掛金	8,000,000
出資金	1,050,000
長期前払費用	1,949,155
資産合計	**788,998,191**

負債・純資産の部	金額
流動負債	**128,302,715**
支払手形	27,668,137
買掛金	52,680,221
未払金	22,091,884
未払費用	5,812,190
未払消費税等	9,201,130
未払法人税等	7,810,143
預り金	3,039,010
固定負債	**259,883,500**
長期借入金	249,883,000
長期未払金	10,000,500
負債合計	**388,186,215**
純資産	**400,811,976**
資本金	20,000,000
利益剰余金	380,811,976
純資産合計	**400,811,976**
負債・純資産合計	**788,998,191**

修正損益

対比用サンプル
（悪い例）

■ 役員報酬及び保険料を調整した修正後の経常利益は以下のとおり。

項目	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	3期平均
経常利益	▲7,524	35,488	42,189	23,384
（＋）役員報酬	4,800	4,800	4,800	4,800
（＋）保険料	4,020	4,020	4,020	4,020
修正経常利益	**1,296**	**44,308**	**51,009**	**32,204**

（単位：千円）

【調整内容】

・役員報酬：非常勤役員2名（取締役・監査役）は譲渡後に退任予定のため、同2名の役員報酬（年4,800千円）を加算。
・保険料：役員生命保険の保険料（年4,020千円）は譲渡時に解約予定のため加算。
・上記調整後の修正経常利益の3期平均は32,204千円となる。

修正純資産

対比用サンプル
（悪い例）

■ 土地の含み益を反映した修正純資産は以下のとおり。

項目	金額	備考
簿価純資産	400,812	2026年3月期 貸借対照表
（＋）土地の含み益	29,787	固定資産税評価額と帳簿価額との差額
修正純資産	**430,599**	

（単位：千円）

【土地の明細】

所在	面積	帳簿価額	固定資産税評価額	含み益
本社工場（上田市）	3,300㎡	35,297	35,081	▲216
第二工場（上田市）	5,600㎡	49,870	79,873	30,003
合計	**8,900㎡**	**85,166**	**114,954**	**29,787**

（単位：千円）
※土地の時価は固定資産税評価額によっている。土地以外の資産・負債は帳簿価額のまま。

借入金一覧

対比用サンプル
（悪い例）

■ 2026年3月末時点の借入金は以下のとおり。

No.	借入先	借入日	当初借入額	毎月返済額	期末残高	金利
1	地方銀行A	2019年3月	100,000,000	833,000	30,028,000	1.20%
2	地方銀行A	2023年6月	100,000,000	833,000	72,511,000	1.35%
3	地方銀行A	2025年9月	49,000,000	583,000	45,502,000	1.55%
4	信用金庫B	2021年3月	60,000,000	500,000	30,000,000	1.30%
5	信用金庫B	2024年10月	52,000,000	619,000	41,477,000	1.45%
6	日本政策金融公庫	2020年6月	50,000,000	595,000	30,365,000	0.90%
	合計		**411,000,000**	**3,963,000**	**249,883,000**	

（単位：円）
※上記のほか、長期未払金（300tプレスの割賦）がある。代表取締役が連帯保証している。

○○M&Aパートナーズ株式会社

〒XXX-XXXX　東京都●●区●●
TEL 03-XXXX-XXXX

※架空の仲介会社です。

おわりに ｜ 本資料をご覧いただいた皆さまへ

データを並べただけでは、
会社の本当の魅力は伝わりません。

ここまでご覧いただいた企業概要書は、決算書や会社案内の情報を整理して並べたものです。会社の概要は一通りわかりますが、「なぜこの会社を選ぶべきなのか」は、なかなか見えてこなかったのではないでしょうか。

買い手が本当に知りたいのは、事実の一覧ではなく、その会社が顧客に選ばれ続けてきた理由と、これからの可能性です。それを伝えるには、ビジネスと財務を深く分析し、強みの源泉を言葉と数字で示すことが欠かせません。IMの深さは、M&Aの結果を大きく左右します。

表面的にデータを集めたIM	→	深い分析にもとづくIM
「何をしている会社か」はわかる		**「なぜこの会社なのか」が伝わる**

ぜひ当社のIMサンプル（上田ファインプレス株式会社）と見比べて、その違いを実感してみてください。

株式会社STRコンサルティング